



学校だより

横浜市立矢上小学校

☺手をつなぎ 笑顔いっぱい 矢上っ子☺

2月号

発行日 令和6年1月31日

聞く。触れる。自分が変わる。

副校長 渡邊 将道

先日、大谷翔平選手からグローブが「野球しようぜ!」というメッセージと共に本校にも届きました。現在は、順番に各教室に回してお披露目しています。楽しみにしていた子どもたちも多かったようで、近日中に校庭でキャッチボールをする子どもたちの姿が見られそうです。



大谷選手について「とても凄い選手」ということ以外あまり知らなかった私は、今回のグローブ寄贈を機会に大谷選手に関するネットの関連記事をたくさん読んでみました。改めてその功績に触れるとともに、これまで「なんでもできる天才」のイメージをもっていました。様々な記事を読み、実はこつこつと努力を重ねる大谷選手の姿があることに驚かされました。

ある記事では、大谷選手が四球を選び1塁へ向かう時にグラウンドの芝生の上に落ちているゴミを拾い、何事もなかったかのように、ポケットに入れる姿がアメリカでも話題になったというものがありません。この行動の背景には、「ゴミは、人が落とした運だ。ゴミを拾うことは運を拾うこと。ゴミを拾うことで自分自身にツキを呼ぶ。そんな考え方をしなさい。」という大谷選手の出身校である花巻東高校の野球部の佐々木監督の教えがあるということでした。記事には続きがあり、佐々木監督のもと、高校1年生の大谷選手は目標達成シートを作成し、最終目標を「ドラフト1位で8球団から指名される」と設定したそうです。そのシートは、最終目標を達成するために、必要な能力を書き出し、さらに、その能力を高めるための具体的な行動を書き出すというものです。実際に大谷選手が高校1年当時に書いた目標達成シートには、「体づくり」「コントロール」「変化球」「キレ」などピッチャーが備えるべき能力に、さらに細かく、トレーニングに結び付く具体的な行動が書き出されていました。意外だったことは「体づくり」や「コントロール」などの野球の技術面と同じように、「運」という項目が設定されていたことです。大谷選手が「運」の項目に書き込んだ8つの具体的な行動を見ると、「ゴミ拾い」「部屋そうじ」「あいさつ」「審判への態度」「本を読む」「応援される人間になる」「プラス思考」「道具を大切に使う」と書かれていました。

大谷選手は、「運」についても、自分の行動や態度によってコントロールできるものと考え、具体的な行動を継続してきたことを知りました。運を味方に付けるという目的があるとはいえ、高校1年で設定した具体的な行動を、超一流の選手になっても続けていることには驚きしかありません。誰も出来ないことを達成するような人は、誰でもできることをやり続けられる人なのかと素直に思いました。子どもたちに、野球を楽しんでもらおうと寄贈されたものですが、大人の私も今回のグローブをきっかけに、大谷選手の考え方や行動に触れ、大きな刺激を受けました。明日からの自分が少し変わるような予感すらあります。

学校では、日々の教育活動に加え、様々な人と関わる機会をつくり、多くの刺激をいただいています。例えば、6年生はキャリア教育の一環で、社会人や大学生にご来校いただき、それぞれの方から、これまでの人生での分岐点、目標設定や目標の変化、自分自身で経験したこと・感じたこと等をお話いただいています。子どもたちは興味津々で聞きながら、夢を改めて強く思ったり、自分のこれからについて想像したり、各々がいろいろな受け止めをしています。その他の学年でも、本年度は出前授業や体験的な学習を意図的に増やしてきました。「いつもと違う人の話を聞く。新しいものに触れる。その体験や経験が自分自身の変化につながる。」そのような機会を今後もつくっていきたいと思います。

子どもたちはグローブを手にとんなことを思うのでしょうか。ぜひ、ご家庭でも話題にしてください。

☺次の50年に向けて…令和6年度、矢上小はさらに「変化・改善」していきます～その2～☺

令和6年より、4年生は 一泊二日の体験学習 ではなく 日帰り体験学習×複数回 とします。

…これまで行動範囲が野島方面に限られていましたが、それぞれ別方面での活動が可能になります。日帰りでの体験学習を複数回実施することで、行動範囲を広げ4年生の学習内容と関連ある活動のさらなる充実を図っていきます。

【学校の様子をホームページにてお知らせしています】
各学年の活動や学校からのお知らせを掲載しています。ぜひご覧ください。
<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yagami/>



←QRコード